

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	科学研究費助成事業			担当部局庁	研究振興局		作成責任者
事業開始年度	昭和40年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	学術研究推進課		学術研究推進課長 田畑 磨
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	科学研究費補助金 【文部科学省交付分】 科学研究費補助金取扱規程 【(独)日本学術振興会交付分】 独立行政法人日本学術振興会法第15条第1号 学術研究助成基金補助金 独立行政法人日本学術振興会法第18条			関係する 計画、通知等	未来投資戦略2018(平成30年6月15日閣議決定) 第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 統合イノベーション戦略2023(令和5年6月9日閣議決定) 経済財政運営と改革の基本方針2023(令和5年6月16日閣議決定) 成長戦略等のフォローアップ(令和5年6月16日閣議決定)		
政策	8 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化			主要経費	科学技術振興費		
施策	8-2 基礎研究・学術研究の振興						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-04.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	科学研究費助成事業(以下「科研費」という。)は、人文学・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする競争的研究費であり、人類共通の知的資産を創出するとともに、重厚な知的蓄積の形成に資する。						
現状・課題 (5行程度以内)	科学技術・学術政策研究所の「科学技術指標2022」によると、日本の論文数は横ばいであり、他国・地域における論文数の増加により順位を下げていること、注目度の高い論文数(Top10%補正論文数及びTop1%補正論文数)で日本の順位の低下が顕著であることが指摘されている。また、同研究所の「科学技術の状況に係る総合的意識調査(NISTEP 定点点調査 2022)」では、学術研究・基礎研究について、「新たな課題の探索・挑戦的な研究を行うための環境」や「基礎研究の多様性」などに関し不十分との強い認識が示されている。一方で、前年度よりも状況が上向きになっているとの回答もあり、その理由として「科研費の改革」が複数挙げられているなど、本事業への期待が示されている。こうしたことから、研究者の自由な発想に基づく独創的・先駆的な研究や国際共同研究の推進等を通じ、我が国の研究力を向上するため、研究活動の国際化や若手研究者の育成等に貢献する研究費支援の在り方に留意しつつ継続的に制度改革を進めるとともに、科研費による支援を一層推進する必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	科研費では、大学等の研究者を対象に広く公募を行っており、応募された研究課題については、8,000人以上の研究者による専門分野ごとのピアレビュー(専門分野の近い複数の研究者による審査)を行い、研究者に研究費を助成している(ピアレビューによる審査結果を踏まえて査定の上必要な額を全額補助)。なお、科研費においては、研究の段階や規模、研究期間に応じて様々な応募区分(研究種目)を設定している。また、平成23年度から複数年度研究費の改革(基金化)を行い、一部の研究種目において、年度の区分にとられない研究費の使用など柔軟な使用を可能としている。						
事業概要URL	https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/						
実施方法	補助						
補助率等	日本学術振興会(JSPS)が実施する科学研究費助成事業について、当該経費を補助(定額補助)						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	237,381	237,678	237,678	237,678	256,663
		補正予算(B)	-	11,000	15,604	65,441	
		令和5年度第1次補正予算				65,441	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	7,954	19,880	21,155	13,703	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 19,880	▲ 21,155	▲ 13,703	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	225,455	247,403	260,734	316,822	256,663	
	執行額(G)		225,444	247,393	260,723		
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	100%	100%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		95%	99%	103%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	研究振興費			※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。 要求額のうち「重要政策推進枠」:54,493百万円		
	(目)	科学研究費補助金	132,876	117,287			
	(目)	学術研究助成基金補助金	104,774	139,347			
	(目)	諸謝金	16	16			
	(目)	庁費	6	6			
	(目)	委員等旅費	5	5			
		その他	1	2			
	計(A)		237,678	256,663			

活動内容① (アクティビティ)		人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用まであらゆる「学術研究」を対象に助成を行い、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究を推進する。								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		研究者の自由な発想にもとづく研究への支援	採択課題数(新規+継続)	活動実績	件	85,738	90,853	90,209	－	－
				当初見込み	件	－	－	－	90,209	90,209
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	継続的な制度改革のもと、研究者の自由な発想に基づく研究への支援により、研究の着実な進展が図られることとなり、「新たな課題の探索・挑戦的な研究を行うための環境」や「基礎研究の多様性」(現状・課題に記載した事項)の確保に繋がることから、研究の進展に応じて提出される実績報告書数を短期アウトカムとして設定した。 ※アウトプット及びアウトカムは、主な研究種目*に関して記載する *「特別推進研究」、「基盤研究」(特設分野研究を除く)、「挑戦的研究(開拓)(萌芽)」、「若手研究」(若手研究(A)(B)を含む)、「新学術領域研究(研究領域提案型)」、「学術変革領域研究(A)」(計画研究・公募研究)、「学術変革領域研究(B)」(計画研究)、「研究活動スタート支援」、「特別研究員奨励費」、「国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A)(B)及び帰国発展研究(令和3年度より計上))」								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		着実な研究の進展	実績報告書数(各年度実績は翌年度中における集計結果。令和4年4月時点)	成果実績	件	89,892	101,734	－	－	
				目標値	件	－	－	90,209	90,209	
		達成度	%	－	－	－	－			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独立行政法人日本学術振興会の調査による ※実施状況報告書を含む								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	「新たな課題の探索・挑戦的な研究を行うための環境」や「基礎研究の多様性」(現状・課題に記載した事項)が改善され、本事業における成果創出が最大化することにより、「知」の創出に向けた取組の中核となる学術研究が進展し、我が国の研究力の向上に資すると考えられるため、本事業による成果の数を長期アウトカムとして設定した。なお、本事業は人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用まであらゆる「学術研究」を対象としていることから、論文数のみならず、産業財産権及び図書を含め成果指標とする。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度	
		研究成果の創出	科研費による成果数(論文、産業財産権、図書)(各年度実績は翌年度中における集計結果。令和4年4月時点)	成果実績	件	178,381	203,159	－	－	
				目標値	件	－	－	197,582		
		達成度	%	－	－	－	－			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独立行政法人日本学術振興会の調査による								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容② (アクティビティ)		人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用まであらゆる「学術研究」を対象に助成を行い、国際共同研究を推進する。									
↓											
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		多様な研究への支援	採択課題数(新規+継続)	活動実績	件	85,738	90,853	90,209	－	－	
				当初見込み	件	－	－	－	90,209	90,209	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	国際共同研究の進展に合わせた執行を可能とする科研費の基金化等の継続的な制度改革のもと、研究者の自由な発想に基づく国際共同研究の推進等を通じ、国際共同研究の着実な進展が図られるため、研究の進展に応じて提出される国際共同研究野実績を含む実績報告書数を短期アウトカムとして設定した。 ※アウトプット及びアウトカムは、主な研究種目*に関して記載する *「特別推進研究」、「基盤研究」(特設分野研究を除く)、「挑戦的研究(開拓)(萌芽)」、「若手研究」(若手研究(A)(B)を含む)、「新学術領域研究(研究領域提案型)」、「学術変革領域研究(A)」(計画研究・公募研究)、「学術変革領域研究(B)」(計画研究)、「研究活動スタート支援」、「特別研究員奨励費」、「国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A)(B)及び帰国発展研究(令和3年度より計上))」									
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度		
		科研費による国際共同研究の進展	国際共同研究の実績を含む 実績報告数(各年度実績は翌 年度中における集計結果。令 和4年4月時点)	成果実績	件	9,525	10,394	－	－		
				目標値	件	－	－	10,395	10,396		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独立行政法人日本学術振興会の調査による ※実施状況報告書を含む									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	「新たな課題の探索・挑戦的な研究を行うための環境」や「基礎研究の多様性」(現状・課題に記載した事項)が改善され、本事業における国際共同による成果創出が最大化することにより、「知」の創出に向けた取組の中核となる学術研究が進展し、我が国の研究力の向上に資すると考えられるため、本事業による国際共著論文数を長期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度		
		国際共同研究による成果創出	国際共著論文数(各年度実績 は翌年度中における集計結 果。令和4年4月時点)	成果実績	件	28,244	31,197	－	－		
				目標値	件	－	－	30,207	30,207		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独立行政法人日本学術振興会の調査による									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									
		－									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	－									
	URL	－									
	該当箇所	－									

[illegible]

※令和4年度実績を記入。 なお、金額は単位未満を四捨五入していることから、合計が一致しない場合がある。

諸謝金 13百万円
職員旅費 1百万円
委員等旅費 0.8百万円
庁費 2百万円

・科学研究費補助金
文部科学省においてピアレビューを経て採
択された研究課題について補助金を交付す
るほか、日本学術振興会においてピアレ
ビューを経て採択された研究課題について
日本学術振興会からの報告に基づき、補助
金を交付。

文部科学省
260,723百万円

・学術研究助成基金補助金
日本学術振興会法第18条に基づき、日本
学術振興会が学術研究の助成等を実施す
るための基金の造成のために補助金を交
付。なお、日本学術振興会においてピアレ
ビューを経て採択された研究課題について
日本学術振興会からの報告に基づき交付。

[補助金等交付]

A: 科学研究費補助金
147,178百万円
独立行政法人
日本学術振興会

文部科学省科学技術・学術審議会から示された科学研究費助成事業の審査の基本的考え方に従い、日本学術振興会科学研究費委員会で審査方針等を決定し、ピアレビューを経て採択された研究課題について、補助金を交付。

[補助金等交付 学術研究助成基金への積み増し]

D: 学術研究助成基金補助金
113,528百万円
独立行政法人
日本学術振興会
基金残高 128,674百万円

文部科学省科学技術・学術審議会から示された科学研究費助成事業の審査の基本的考え方に従い、日本学術振興会科学研究費委員会等で審査方針等を決定し、ピアレビューを経て採択された研究課題について、助成金を交付。基金事業に要する費用に対する保有基金額の割合は100%である。なお、過年度造成基金からも支出するため、予算額と執行額は異なる。

[随意契約・一般競争等]

B: 科学研究費補助金
2,722百万円
企業等
(全686件及び個人)

審査に必要な物品の購入、審査委員会関連経費、電算関連経費等、審査・評価等関連業務経費。

[補助金等交付]

C: 科学研究費補助金
144,456百万円
研究者等
(全 23,698件)

人文学・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたる研究の実施。

[随意契約・一般競争等]

E: 学術研究助成基金助成金
539百万円
企業等
(全150件及び個人)

審査に必要な物品の購入、審査委員会関連経費、電算関連経費等、審査・評価等関連業務経費。

[補助金等交付]

F: 学術研究助成基金助成金
96,236 百万円
研究者等
(全 67,527 件)

人文学・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたる研究の実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者に ついて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	研究費補助	研究者に交付	144,456	電算関連経費	電子申請システムの運用保守	81
	その他	電算関連経費等、審査・評価等関連経費	2,190.5			
	諸謝金	書面審査謝金、委員手当等	527.9			
	旅費	委員会出席旅費等	3.1			
	物品費	審査に必要な機器及び消耗品の購入等	0.8			
	計		147,178.3	計		81
	C.			D.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	物品費	物品の購入等	327	研究補助	研究者に交付	96,236
	間接経費	研究環境整備等	105	諸謝金	書面審査謝金、委員手当等	372.7
	人件費・謝金	研究への協力謝金等	20	その他	電算関連経費等、審査・評価等関連経費	165.4
	旅費	研究旅費等	2	旅費	委員会出席旅費等	0.7
				物品費	審査に必要な機器及び消耗品の購入等	0.1
	計		454	計		96,774.9
	E.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	電算関連経費	データベース・システムの改修業務	30	物品費	物品の購入等	72
				間接経費	研究環境整備等	30
				旅費	研究旅費等	26
				その他	研究遂行上直接必要となるもの	1
				人件費・謝金	研究への協力謝金等	1
	計		30	計		130
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人日本学術振興会	1010005006890	研究者等への研究費交付	147,178.3	補助金等交付	-	-	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	NECネクサソリューションズ株式会社	7010401022924	電子申請システムの運用保守	81	随意契約(その他)	-	-	
2	NECネクサソリューションズ株式会社	7010401022924	電子申請システムの改修業務	62	随意契約(その他)	-	-	
3	NECネクサソリューションズ株式会社	7010401022924	電子申請システムの改修業務	61	随意契約(その他)	-	-	
4	NECネクサソリューションズ株式会社	7010401022924	電子申請システムの改修業務	54	随意契約(その他)	-	-	
5	NECネクサソリューションズ株式会社	7010401022924	電子申請システムの改修業務	53	随意契約(その他)	-	-	
6	NECネクサソリューションズ株式会社	7010401022924	電子申請システムの改修業務	52	随意契約(その他)	-	-	
7	NECネクサソリューションズ株式会社	7010401022924	電子申請システムの改修業務	50	随意契約(その他)	-	-	
8	NECネクサソリューションズ株式会社	7010401022924	電子申請システムの改修業務	35	随意契約(その他)	-	-	
9	NECネクサソリューションズ株式会社	7010401022924	電子申請システムの改修業務	11	随意契約(その他)	-	-	
10	NECネクサソリューションズ株式会社	7010401022924	電子申請システムの改修業務	11	随意契約(その他)	-	-	
11	NECネクサソリューションズ株式会社	7010401022924	電子申請システムの改修業務	9	随意契約(その他)	-	-	
12	NECネクサソリューションズ株式会社	7010401022924	電子申請システムの改修業務	8	随意契約(その他)	-	-	
13	NECネクサソリューションズ株式会社	7010401022924	電子申請システムの改修業務	7	随意契約(その他)	-	-	
14	NECネクサソリューションズ株式会社	7010401022924	システムの月額利用料	2	随意契約(少額)	-	-	
15	みずほリサーチ&テクノロ ジーズ株式会社	9010001027685	データベース・システムの運用保守	176	随意契約(その他)	-	-	
16	みずほリサーチ&テクノロ ジーズ株式会社	9010001027685	データベース・システムの改修業務	40	随意契約(その他)	-	-	
17	みずほリサーチ&テクノロ ジーズ株式会社	9010001027685	データベース・システムの改修業務	32	随意契約(その他)	-	-	
18	みずほリサーチ&テクノロ ジーズ株式会社	9010001027685	データベース・システムの改修業務	30	随意契約(その他)	-	-	
19	みずほリサーチ&テクノロ ジーズ株式会社	9010001027685	データベース・システムの改修業務	23	随意契約(その他)	-	-	
20	みずほリサーチ&テクノロ ジーズ株式会社	9010001027685	審査員選考システムの改修業務	9	随意契約(その他)	-	-	
21	みずほリサーチ&テクノロ ジーズ株式会社	9010001027685	審査員選考システムの改修業務	5	随意契約(その他)	-	-	
22	みずほリサーチ&テクノロ ジーズ株式会社	9010001027685	審査員選考システムの改修業務	5	随意契約(その他)	-	-	
23	みずほリサーチ&テクノロ ジーズ株式会社	9010001027685	審査員選考システムの改修業務	5	随意契約(その他)	-	-	
24	みずほリサーチ&テクノロ ジーズ株式会社	9010001027685	審査員選考システムの改修業務	4	随意契約(その他)	-	-	
25	みずほリサーチ&テクノロ ジーズ株式会社	9010001027685	審査員選考システムの運用保守	0.5	随意契約(少額)	-	-	
26	みずほリサーチ&テクノロ ジーズ株式会社	9010001027685	審査員選考システムの改修業務	0.2	随意契約(少額)	-	-	
27	NECキャピタルソリューション株式会社	8010401021784	電子システム用サーバの管理業務	120	一般競争契約 (総合評価)	1	92%	-
28	NECキャピタルソリューション株式会社	8010401021784	ネットワーク機器保守運用	29	一般競争契約 (最低価格)	1	99%	-
29	NECキャピタルソリューション株式会社	8010401021784	電子申請システム用ストレージの追加	4	随意契約(その他)	-	-	
30	株式会社荒井商店	7011001001599	麹町ビジネスセンター賃借料	114	随意契約(その他)	-	-	

C

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	研究代表者Aほか	-	核物質内クラスター生成機構の総合的解明	454	補助金等交付	-	-	
2	研究代表者Bほか	-	超高圧実験による地球コアの軽元素組成の解明	266	補助金等交付	-	-	
3	研究代表者Cほか	-	反K中間子原子核の内部構造解明による新しい原子核研究の展開	242	補助金等交付	-	-	
4	研究代表者Dほか	-	核融合プラズマの位相空間揺らぎをもたらす新しい輸送パラダイムの探求	232	補助金等交付	-	-	
5	研究代表者Eほか	-	生体防御における自己認識の「功」と「罪」	228	補助金等交付	-	-	
6	研究代表者Fほか	-	化学反応における超高速非断熱ダイナミクスの研究	224	補助金等交付	-	-	
7	研究代表者Gほか	-	水素イオンセラミックス	204	補助金等交付	-	-	
8	研究代表者Hほか	-	X線で挑む地球磁気圏のグローバル撮像	194	補助金等交付	-	-	
9	研究代表者Iほか	-	光合成における光誘導水分解反応機構及び光エネルギー利用機構の解明	191	補助金等交付	-	-	
10	研究代表者Jほか	-	時間分解X線溶液散乱法による光化学反応の構造可視化	189	補助金等交付	-	-	

